

「遊行柳」が国指定「おくのほそ道の風景地」の名勝に指定されました

文部科学大臣は、国の文化審議会からの答申を受け、平成27年3月10日の官報告示をもって、「遊行柳（清水流るゝの柳）」を「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国の名勝に指定することとしました。

今回の指定は、松尾芭蕉の紀行文「おくのほそ道」に登場する名所・旧跡など6県6カ所が優れた風致景観として追加指定され、これまでに全国で24カ所指定されています。栃木県内で指定されているのは、日光市のガンマンガ淵（慈雲寺境内）、大田原市の八幡宮（那須神社境内）、那須町の殺生石（昨年指定）、遊行柳の4カ所です。



町内の国指定文化財は三森家住宅、専称寺の阿弥陀如来立像、殺生石に続き、4件目となります。

■指定地 遊行柳（清水流るゝの柳） ■面積 590.58㎡

■指定理由

遊行柳は、奥州道中芦野宿の白河側の入口、やや西側の水田中に位置し、丘陵を借景にした、柳の大木から成る風光明媚な風致景観です。平安時代には西行が奥州を旅する途次、芦野の柳を題材にして和歌を詠んだといわれ、室町時代中期には「遊行柳」の名称ともなった時宗の遊行上人が訪れ、それを題材にして謡曲「遊行柳」も作られました。江戸時代には西行に関連する歌枕の地として著名であった遊行柳に松尾芭蕉が訪問し「田一枚植えて立ち去る柳かな」という句を詠んでいます。

現在は、湯泉神社の参道を挟んで2本の柳があり、そのうち玉垣を廻らせたものが遊行柳とされており、参道は水田中を横断しているので樹木の集中部は水田に浮かぶ小島のような景観となっています。その奥には上の宮湯泉神社とその境内に立つ大イチョウが鏡山を背にしており、それらが柳の借景となって良好な景観を呈しています。

これらのことから「おくのほそ道の風景地」にふさわしい風致景観のひとつと評価され、今回の指定に至りました。

■問合せ 那須歴史探訪館 ☎74-7007

第33回柳まつり 全国俳句大会開催

今年も柳まつり全国俳句大会を6月14日(日)に開催します。

また、兼題の部の募集は4月15日(日)必着で、募集しています。皆さまの投句をお待ちしています。

【兼題の部・作品募集】

▼作品 二句一組
(未発表・四季雑詠・前書不可)
何組でも応募可

▼用紙 投句用紙または原稿用紙(郵便番号・住所・氏名併号・電話番号・大会出欠明記)

▼投句料 一組につき1,000円(現金書留または郵便小為替で投句と同封)

▼投句先 〒329-3215 那須町大字寺子 乙2567-10 (那須町文化センター)

ンター内)「柳まつり全国俳句大会事務局」宛

▼締切り 4月15日(日)必着

【大会の部・席題】

▼日時 6月14日(日)午前11時30分開会(午前9時から受付)

▼会場 芦野基幹集落センター

▼出席 二句(席題は当日9時発表・投句締切午前11時予定)

▼参加料 1,000円(句集、昼食代を含む)当日受付で徴収

※当日の俳句大会に参加される方は、参加料が必要です。

▼選者 伊藤肇・末永雅子・木島松穹・鶴見一石子の各先生

▼送迎 無料バス運行(那須塩原駅西口午前9時10分発)黒磯駅発9時25分発(会場到着9時50分頃)

▼問合せ 生涯学習課文化振興係 ☎⑦6565

サークル情報を 募集します

町民の皆さまの生涯学習活動の第一歩を支援する目的のもと、町内のサークル情報を集約し、リーフレットを作成します。「自分たちの活動を広く知ってもらいたい」、「メンバーを募集したい」というサークルや団体の方は、ぜひ生涯学習課に情報をお寄せください。

▼申請方法 サークル情報登録申請書に必要事項を記入のうえ、生涯学習課へお送りください。

申請書は文化センター窓口もしくは町公式ホームページからダウンロードすることができます。

▼締切り 4月24日(金)

▼その他 リーフレットは5月中旬に町内各所での配布や町公式ホームページでの公開を予定。

▼申込み・問合せ 生涯学習課 ☎⑦6923